Class & Group	Seat	Name	Student number	Date	Handout Number

Selected research reading 1.

今日，我々は，新しい分析技術を活用して，薬物の投与量と薬理学的効果との相互関係について洞察を深めるようになった．いまや，我々が理解していることは，数多くの薬物について期待される薬理的効果が達成されるためには，特定の血中濃度が達成されなければならないこと，そして，通常，薬物が適切な血中濃度の範囲にあると，有効な薬物治療が可能になることである．この有効な薬物濃度を越えた場合，患者は予期しない薬物の副作用を経験することになろう．また，この有効薬物濃度以下では，患者は，疾病の治療を達成できないであろうし，治療の対象となる病気の兆候を改善できないであろう．臨床薬学分野の急速な発達が過去の 10 年間に見られたが，これは治療薬物測定（TDM）と直接結び付いている．ひるがえって，治療薬物測定が活用できるようになったのは，技術上の急速な開発と関連しているのであり，こうした技術が薬物の定量を可能にしている．